公益社団法人出雲市シルバー人材センター

理事会だより

第 69 号　発行:令和 4 年 12 月 28 日

令和 4 年度第 6 回（R4.12.20）理事会の会議状況や決定したことについてお知らせします。第 6 回の理事会は、理事 11 名中 9 名が、監事 2 名中 2 名が、事務局から 1 名の職員が出席しました。

第 6 回の議事は、報告 6 件（事業実績/業務報告/派遣事業及び受託事業の各種統計/正味財産増減計算書における収支状況及び資金繰表/出雲市ふるさと寄附返礼品(体験型サービス)提案申込書/シルバー人材センターの役割の重点化、議案 1 件（正会員の承認について)、協議 1 件（今後の事業実施について(新型コロナ感染拡大を踏まえて)）でした。

事業実績について

10 月の受注実績(請負･委任、派遣の合計額)は、5,030 万 7 千円、11 月の受注実績(同)は、4,546 万 9 千円でした。前年度は 10 月が 4,751 万 6 千円、11 月が 4,566 万 8 千円で、前年度比は 10 月が 105.9%、11 月が 99.6%となりました。このうち派遣事業の実績は、10 月が 1,570 万 9 千円、11 月が 1,552 万 8 千円でした。前年度は 10 月が 1,414 万 3 千円、11 月が 1,413 万 8 千円で、前年度比は 10 月が 111.1%、11 月が 109.8%となりました。請負･委任の職群別の 4～11 月実績では、除草が 7,526 万 7 千円で前年度比 100.3%、剪定が 6,056 万 8 千円で前年度比 105.6%でした。また、会員数は、11 月末現在で、970 名(男 600 名、女 370 名)となり、今年度に入って、4 名の減（男 16 名減、女 12 名増）となっています。男性が減少し、女性が増加しました。

業務報告について

10 月 18 日から 12 月 19 日までのセンターの業務及び 10、11 月の勤務実績(理事長は 10 月が 19 日、11 月が 18 日、常務理事は 10 月が 19 日、11 月が 17 日)の報告をしました。

派遣事業及び受託事業の各種統計について

中国 5 県派遣実績（4 月～10 月）では、前回に引き続き広島市センターに次いで第 2 位であること、令和 4 年度の派遣先事業所（4 月～11 月実績）では、前回に引き続きラピタ、島根富士通、アシスト（イオンの買物カート）が上位 3 事業所となっていること、その他、県内各センターの事業全体の会員一人当りの契約金額（4～10 月分）が、出雲市センターは 323,162 円で県内の 9 センター(国庫補助団体)の内、第 1 位となっていることなどについて報告しました。

正味財産増減計算書における収支状況及び資金繰表について

当センターの資金については、11 月末現在で収入が支出を 1,731 万 3 千円上回っていることと、預金残高が、普通預金が 4,231 万 7 千円、定期預金が 1,902 万円となっていることを報告しました。定期預金は、将来的に財政赤字が生じた際の補填のための財政運営資金積立資産です。普通預金と定期預金を合わせて資産合計 6,133 万 7 千円となっていることを報告しました。

出雲市ふるさと寄附返礼品（体験型サービス）提案申込書について

センターが市内の空家について、点検、除草、剪定、障子・襖の張替、清掃などふるさと寄付金の 3 割分のサービス提供を行う(3 割を超える分は差額負担)ための提案申込書を市に提出する旨の報告をしました。

センターの役割の重点化について

まだ未定稿ですが、発注者とセンターが包括的契約（仮称）を締結し、会員は就業の際に発注者とセンターで作成した就業規約（仮称）に署名するという会員の保護強化のための見直しのイメージについて説明しました。

正会員の承認について

11 月 18 日から 12 月 19 日までに受け付けた 8 名(男性 6 名、女性 2 名)の入会が承認されました。

今後の事業実施について

今後予定している事業（大会、研修会等）については新型コロナの感染状況を見て決定することについて協議しました。

※理事会を傍聴できます

理事会の傍聴を希望される会員は、事務局へご連絡ください。なお、定員は 8 名です。

今後の理事会の予定：2 月 21 日(火)、3 月 13 日(月)　(13:30-16:30 センター会議室)